

政権奪取へ。



今回の屈辱的な大敗北から立ち上がるためには、自民党は生まれ変わらなければならない。
まずは、世代交代を行い、そして老・壮・青が適材適所に一致結束してこの難局に立ち向かう。特に、働き盛りの中堅・若手が行動の中心とならなければならない。

そして、国民の苦しい思いをしっかりと受け止め、すべての人が希望を持てる政策を、官僚に頼らず、自分たちの頭で打ち出さなければならない。特に、日本社会の真髄である地域社会の再生、人々のつながり(「連帯」)・安心の再構築が何より急がれる。

これは本来、地域に根づいた保守政党・自民党しか担うことのできない仕事なのです。
自民党がこのどん底から立ち上がり、進化・成長を成しとげ、今一度国民の信頼を取り戻すために、私は、自分の経験の少なさも実力もよくわきまえていますが、進化・成長する自民党の一つの柱として、すべてを投げ出す覚悟です。皆さんの先頭に立って闘います。



新世代総裁候補 西村康稔8つの本気

出直そう！自民党！～真の国民政党へ～

取り戻そう！民力！
～すべての人が希望を持てる国づくりへ～

1 世代交代で民意の得られる自民党へ。

- 自民党再生の道筋づくり**
- 適材適所、老・壮・青それぞれの持つ力を結集して政権奪回！
 - 国会論戦で自民党の実力披露、最前線の行動隊は中堅・若手が！
 - 次期衆院選勝利・政権奪取に向けて、リクルーティング機能(候補者発掘、指導、支援)の強化、広報体制の抜本的強化、地方組織の改革・強化、党本部との連携強化。
 - まずは2010年参院選、2011年統一地方選挙を戦略的・一体的に展開。
 - 来年の参院選に勝利するための抜本的な体制整備。

5 地方重視！庶民にやさしい本来の自民党へ。

- 地方再生～ニッポンの真髄・足腰を元気に～**
- 地域コミュニティの再生(地域の伝統・文化の維持発展、自然との共生、会話・人情のある商店街の再生)。人々がつながり合い、相互扶助する「連帯」する社会の再構築。
 - 防災・環境エネルギー・医療分野には、国が積極的投資。
 - 道州制導入により、効率的で住民密着の地方行政実施。
 - 地方が独自に使える税財源の拡充。

2 霞ヶ関改革と、官僚に頼らない政策づくり。

- 国民の思いをしっかりと受け止め、自分たちの頭で考えることのできる真の国民政党へ。
- 政策立案を官僚に依存しない仕組みに抜本改革(政務調査会の再編成・強化、民間有識者を活用したシンクタンク機能の強化)。
- 天下り・渡りの全面禁止。

6 子育て世代だからわかる子育て・教育支援を。

- 将来の国・地域を担う人材の育成**
- 将来、国の教育投資をGDPの5%に拡充(幼児教育無償化含め、7.5兆円増)。
 - 仕事と子育ての両立を可能とする働き方の柔軟化、保育所・学童保育の拡充・整備。
 - 子育ての悩みを分かちあえる広場・NPO支援の拡充。
 - すべての子ども達にチャンスを！(「貧困の再生産」を根絶・奨学金の大胆充実)。
 - 健全な職業観・家族観の醸成～「金がすべて」の風潮根絶～。
 - 海外留学、海外青年協力隊の大幅拡充。
 - 職業訓練の充実・強化。

元気を出そう！ニッポン！
～世界に胸を張れる真の国際貢献へ～

3 世界から憧れられる国・ニッポンへ。

- ～開かれた国づくりへのシナリオを構築～
- アジアの成長を取り込み、成長継続。健全な資本主義・市場主義を構築。
 - 留学生・技術者・投資の受け入れ拡大。外国人参政権付与には反対。
 - 国際競争力強化・雇用拡大のため法人税減税。
 - 世界に冠たる技術を有する中小企業の支援強化。
 - ベンチャー企業支援の抜本的拡充。
 - 海洋・宇宙などニューフロンティアの開拓をリード。

7 農業(畜産・酪農を含む)・水産業・林業を真に支援する党へ。

- 食の安全、食糧自給率の向上のために、農業・水産業の経営安定等を抜本的に拡充。わかり易い制度に簡素化・再構築。
- 食育・地産地消の推進・都市農業の負担軽減。
- 中山間地域の直接支払い制度、農地・水・環境事業の継続・強化。
- 地域の農水産物のブランド化・輸出支援。
- 緊急燃油対策の継続的実施。
- 不当な安売りに対する公正取引規制の強化。

4 与党よりも信頼される(外交の野党)へ

- 世界と日本の平和と繁栄のために**
- 日米安保を基軸とし、世界の国々と連携・協調して、積極的に平和を構築。そのための国連改革。
 - 中東・アフリカ・中南米・ロシア等資源国との信頼関係強化。
 - 特に教育制度や医療制度など日本の強み<ソフトパワー>を提供。
 - アジアの国々とシーレーン(海路)防衛・人材交流強化。
 - 外交力強化、拉致問題を解決。
 - 新しい国づくりのための憲法改正。

8 年金に、医療に、高齢者に手厚い自民党へ。

- 安心できる年金・福祉・医療の制度を確立**
- 市場原理ではない、快適で安心感のある社会制度づくり。
 - 社会保障制度について、超党派で議論するための協議会設置。
 - 社会保障費増加の財源として、当面は、埋蔵金・無駄排除・道路特定財源活用。将来の安定財源確保を早期検討。
 - 医薬品・医療機器の承認審査を大幅に短縮。医療を世界最高の水準に。
 - 医師不足、地域医療・救急医療の体制整備に早急に対応。

西村康稔

略歴

- 昭和37年10月15日生まれ
46才、B型。
- 東大法学部卒業。
通産省入省後、米国メリーランド大学院で国際政治を学び卒業。
この間、陸上部、野球部、ボクシング部で活躍。
- 平成15年 衆院選初当選。
平成17年 2期目当選。
平成21年 3期目当選。
- 家庭では妻と3人の娘の子育て実践中。
- 外務大臣政務官
党改革実行本部事務局長
国土交通部長代理
中小企業事業承継小委事務局長
農林水産物貿易調査会事務局長
厚生関係団体委員長代理
幼児教育小委員会事務局長
NPO特別委員会事務局長
海洋政策特別委員会事務局長
宇宙開発特別委員会事務局長等歴任
- 兵庫県土地改良事業団体連合会会長
兵庫県サッカー協会副会長